

お得意様 各位

お世話になります。

用件：tatara撥水セラミックシリーズ 塗工要領の件。

tatara撥水セラミックシリーズのご購入ありがとうございます。

下記の施工要領にしたがって作業内容をご確認くださいませ。

.....

- 事前に濡れ雑巾などで木部表面をできるだけきれいに拭き取り毛羽をおとしてください。
- 水分がしっかり乾いてから作業をはじめてください。

1回目 → tatara撥水セラミックシリーズ塗料を刷毛に十分に含ませ均等に塗布。

終始、木口はすぐに吸い込んでしまうので多めに塗布してください。

※ 15分程度放置（材種・気温により様々）：表面の塗料はすべて木部に沈み込んでしまいます。

※ **tatara撥水無機ウッドは、撥水セラミックに比較して浸透に倍近くかかり浸透深さも浅めになります。**

※ **着色を伴う場合、当方ではワシン/ボアステイン水性顔料系着色剤（ホームセンター定番）を1回目に塗工実験し良好な結果を得ておりますので、同様のタイプのものが適当かと考えております。**

2回目 → tatara撥水セラミックシリーズを1回目の半分程度の量を塗布。

※ 15分程度放置（材種・気温により様々）：表面の塗料はすべて木部に沈み込んでしまいます。

木部表面の塗料がテカっていたら、表面を整える程度にかかるくウエスをかけてください。

3回目 → tatara撥水セラミックシリーズを2回目より少ない量を塗布。これでフィニッシュです。

木部表面の塗料がテカっていたら、表面を整える程度にかかるくウエスをかけてください。

※ 木材表面が毛羽立ちザラつくようでしたら、必要に応じてサンドペーパー（#400～#800程度）で毛羽をおとしてください。

※ 約45分ですべての作業を完了できます。塗装後、表面仕上げはベタつきがありませんが、内部に浸透した塗料がしっかり硬化するのは約一週間程度を目処でご使用くださいませ。

※ tatara撥水無機ウッドも硬化成分は同じですが溶剤の浸透性に違いがあります。浸透性が弱く浅い分、浸透度（木部内部の隅々にケイ素がゆきわたる度合い）が長期的な耐久性に差がみられる要因です。

.....

いずれの塗料も木材素地をいかに美しく・強く・手軽に活かすかに焦点が絞られている商品です。

塗膜を形成しない仕上げのため、視覚・触感的に塗料を塗った感じがありません。

- ※ 含浸しきれない塗料について、随時きれいなウエスで拭き取って塗膜が残らないようご注意ください。
- ※ 素地を生かし塗料をそのまま染み込ませて塗膜をつらないように仕上げていただく為のものですので、塗工時に10~15分経過しても木部表面に塗料が残るようでしたら拭き取るようにしてください。特に冬目の固いところは塗料が残りやすいです。
- ※ 塗布後はベタつかずサラッとしていますが、内部に含浸したセラミック分子は約一週間で硬化しますので、性能を発揮できるのはそれ以降になります。
- ※ 塗装間隔は、立て続きに塗り込んでいきますのでスピーディーに作業ができます。

<塗工後のメンテナンスについて>

ひと晩で表面乾燥しますが木材内部に浸透したケイ素は大凡一週間かけて徐々に硬化していきます。

また、漆に似た特性があり1~2ヶ月時間経過すれば、さらに硬化性能は上がってきます。

完成後は基本ウエスで乾拭きしていただきますと色艶が増しますが、汚れが気になるときはウエスに中性洗剤を含ませ固く絞った濡れ雑巾でサッと拭きとってください。

- ※ 飲食店舗のように1日に何度も水拭きしますと表面のケイ素は徐々に剥がれカサつきがでます。
その時はウエスにtataraを含ませ全体的にひろく拭き込んでいただくと綺麗に復活します。

tatara by Tokunaga **佐々木 武**

〒673-1119 兵庫県三木市吉川町鍛冶屋 304-1 TEL.090-3944-9358 FAX:06-4977-9124

MAIL:info@tatara-tokunaga.com <http://www.tatara-tokunaga.com>